



大熊一郎 (Alex Ichiro Okuma)

自然・文化、スキー、スポーツアクティビティを題材にしたプロモーション、ドキュメンタリー、テレビコマーシャルを撮影・製作。極寒の流氷から熱帯のジャングルに至る幅広い環境で、水中・陸上・空撮を駆使した臨場感ある撮影・映像製作を得意としています。

代表受賞作品： Guardian of the forest

(第2回日本国際観光映像祭日本部門グランプリ)



楠 健太郎

10年間、制作会社にてブライダル・舞台を中心に映像制作の基礎を学び、2014年、LIFECTを立ち上げる。以後、フリーランスとして、ウェブCM・自治体の観光映像・インバウンド広告などの制作に携わる。

2016年より文化庁 日本遺産映像専門家を委嘱。国内外15ヶ国52都市での撮影実績。

代表受賞作品： TOMONOURA JAPAN HERITAGE -ENGLISH-

(第2回日本国際観光映像祭国際部門 The Best Film in Tourism Products)



福山功起

1969年東京都出身。映画監督・CMディレクター。2015年「夜だから」(主演/波岡一喜)にて長編監督としてデビュー。2016年「鉄の子」(主演/田畑智子)。映画監督だけでなくCMディレクターとしても多くの作品を監督。2012年、天橋立で知られる京都府宮津市を舞台とした中編自主映画「みやづのうた」の監督をキッカケに「地域の魅力×映画」、同時に多くの市区町村の魅力を発信する観光映像も制作し続けている。

代表受賞作品：「最優秀賞神さまに聴こえるくらいの一ひとりごと」

(第2回日本国際観光映像祭日本部門 最優秀作品賞 (VLOG))



宮川 博至

広島県出身。学生時代から映像制作の現場に入り、2004年より演出を始める。これまでにCMディレクターとしてACCブロンズ、ONE SHOW Merit、観光庁長官賞などを受賞。2015年、短編映画「あの夏、やさしい風」がShort Shorts Film Festival & ASIAにて入賞。また同作品がJIM×JIMアワードにて大賞受賞。2018年には2作目となる映画「テロルンとルンルン」を制作。広島国際映画祭をかわきりに、国内外の映画祭に出品中。中之島映画祭 グランプリ、愛媛国際映画祭 脚本賞、富士湖畔の映画祭 敢闘賞、ポピージャスパー映画祭 最優秀長編賞などを受賞。全国上映中。

【代表受賞作品】

「はつかいち物語 愛の取調べ室」, 第9回観光映像大賞観光庁長官賞「テロルンとルンルン」, 中之島映画祭グランプリ など